

実行委員会 総会

日 時 : 2019 年 7 月 14 日 (日) PM1:00~3:00

場 所 : 京都府文化芸術会館 洋室B
京都市上京区河原町通広小路下る東桜町1 (府立医大前)
TEL 075-222-1046

総会出席者 : 【会員】朝日 みお、池内 幹之、大下 百華、片岡 れいこ、汾陽 佐和子、齋藤 修
坂爪 厚生、神野 茅生子、ツツミ アスカ、長瀬 哲夫、野嶋 革、花原 淳子、
廣田 和子、松岡 恵子、三田村 直美、武蔵 篤彦、村井 紳浩、目良 真弓
【賛助会員】神野 明彦 (19名)

委任状提出者 : 【会員】赤司 庸子、池本 明代、石井 誠、伊藤 尚子、岩崎 咲子、小野 知美、
加藤 恵、川端 千絵、久保 直美、越田 美智子、児玉 啓子、近藤 幸、
宿南 泉、塩飽 和子、白井かずよ、鈴木 正仁、鈴木 良治、高井 信子、
武内 由美子、武田 あずみ、竹原 仁子、たなか 玉実、田中 康、千明、
寺田 一行、富永 麻理、ドモンコス 紀子、中垣 満、中山 俊一郎、
羽田 多栄子、濱本 澄江、林 葉子、日高 理恵、福田 和国、ふじい みよこ
古川 元偉、松井 康子、松本 智子、三上 景子、三根 弘子、務川 めぐみ
望月 泉、山川 孝子、山口 剛史、吉本 光生、若狭 陽子
【賛助会員】楠本 行彦、鈴木 浩二、田原 将山、中嶋 眞知子、中村 暢時、藤井 英治
(委任状提出 : 52名)

議 題

1. 会員の動向について

・黒崎 彰氏ご逝去の報告

黒崎 彰氏は、4月末に体調の異変を感じられ、京都第二赤十字病院へ入院された。意識はしっかりあり、喉のマヒで発語はできなかったものの、筆談で会話をされていた。5月14日になって肺炎を発症され、同日夕刻、お亡くなりになりました。葬儀は身内だけの家族葬で済まされ、会からはお香料をご自宅に届けた。

・新たな退会希望者 : 富永 峰子氏

承認

2. 新委員長の承認と、規約の変更の承認

- ・新委員長を武蔵氏に依頼する (資料No.1) 承認
- ・資料2の規約第14条で、総会は年1回開催することとし、必要であれば臨時総会を開催し、対応することとする。 承認
- ・上記により年間事業計画を変更した。(資料No.3)
10月のJARFO特別企画展は画廊の都合により11月末頃に変更予定

3. 黒崎 彰先生のお別れ会企画について <武蔵氏>

名誉教授を務められていた京都精華大学のギャラリーフロールにて、10月21日から29日の期間、黒崎先生の追悼展が開催される。その期間に合わせ、26日(土)に大学関連のレストラン「れあた」にて、精華大版画研究室と版画京都展実行委員会の連名でお別れ会をすることを企画している。

- ・お知らせをどこまでするか?
→精華大から版画研究室の卒業生を中心にお知らせをする予定。
→当会からは会員全員に郵送にてお知らせする。
- ・参列者がどれほどになるか予測が出来ない
→レストランの収容人数は100~150名程。大学内の多目的ホール「Agora」に献花スペースを作り、茶話会をすることも考えている。

4. 2018年度会計決算の報告及び2019年度予算案について <花原氏> (別紙参照)

- ・2018年度 一般会計決算報告書 承認
- ・2019年度 予算案 承認
→広報経費286,340円の内、ウェブサイトの運営費の削減を検討する。

5. 閉会にむけて

- ① 閉会時期について
会の資産も考慮すると2020年度(2021年3月末)が適当だとされる。

② クロージングイベントについて

ホテルなどでクロージングパーティを開催するという案も出ていたが、お世話になったギャラリーで閉会展を行う方が、より広く会の閉会をお知らせすることが予測出来るため、閉会展の開催をすることとなった。

- ・会場はギャラリーヒルゲートと京都王藝際美術館（JARFO）の2箇所が候補として挙げられた。

→ギャラリーヒルゲートでは、2021年2月に1,2階の全館の使用が可能。

→京都王藝際美術館には、使用可能期間や会場使用料など継続して交渉を進める。壁面が広いので、大きな作品の展示が可能。

→2箇所同時開催にした方がよいのか、どのように展示作品を振り分けるかなど詳細を決めていく。

③ 資産処分

会の方に物納された京都十景14セットをどうするか。

→高額出資者14名に謹呈する。

彩雲堂本舗、アワガミファクトリー、有限会社ローラン商会、京都精華大学、岩野平三郎製紙所、ギャラリー宮脇、風俗博物館、セットライズ、画箋堂、京都中央信用金庫、だん王児童館、絵草子、シロタ画廊、養清堂画廊

→すでに購入いただいている京都十景となるべく被らないように、精査しお送りする。

6. 「京都十景」の出版中止について <資料No. 4>

前回の実行委員会で、担当の齋藤氏から主軸の黒崎氏のご逝去に伴い、前回の第7集をもって「京都十景」の出版を中止したいとの申し出があり、後任の担当者も決まらず、出版の中止が決定した。

- ・過去の購入者に出版中止のお知らせを郵送でお知らせする。
- ・未刊の版画集(8巻、9巻、10巻分)の「めおと箱」が既に作られており、在庫として、100個以上あるのをどうするか？

→希望者に齋藤氏から着払いで発送する。

7. 「オーストラリアお返し展」について

展覧会期間は2019年9月20日～11月9日までで9月20日にオープニング、21日にシンポジウムを開催。武蔵氏と近藤氏が参加する。

オーストラリア作家は20名程の出品。

- ・ 作品は8月末頃、武蔵氏より発送する。
- ・ 武蔵氏の経費はオーストラリア側が負担、ワークショップを担当される近藤氏の経費は会の予算から半額負担する。
- ・ 作品返却は年明け以降に三田村氏が梱包し元払いで返却。

8. その他

・ JARFO 巡回展についての報告 <片岡氏> (別紙参照)

- ・ 2019 小品展は約 38 名の作家が参加。
- ・ 巡回展は遠方の方を中心に JARFO が選出した 15 名（赤司庸子、大下百華、久保直美、塩飽和子、武内由美子、武田あずみ、たなか玉実、寺田一行、羽田多栄子、廣田和子、ふじいみよこ、松岡恵子、松本智子、三宅由里子、若狭陽子）の作品が以下の日程で巡回した。
- ・ 舞鶴市 アートスペース 973 (6/13-6/18)
- ・ 京都市内 京都ギャラリー悠玄 (7/2-7/14)

・ JARFO 特別企画展について <野嶋氏>

今年 10 月に開催予定の JARFO 特別企画展は、JARFO の都合により 11 月末頃に変更されることとなった。詳しい日程は分かり次第、報告される。

(文責：目良)